

番 号	10311
効用の種類	ふれあいによる生理・心理的効用
タイトル	高齢者の生活環境や園芸療法の活動形態の違いと心身機能に及ぼす効果の特徴
概 容	二つの異なる方法による園芸療法が、対象とした高齢者の身体機能に及ぼす変化を検討。対象者をⅠ群(施設入居高齢者10名)、Ⅱ群(訪問看護利用高齢者8名)に分け、3ヶ月間Ⅰ群は3,4名のグループでの活動、Ⅱ群は個別の活動を行い、東大式エゴグラム第2版(TEG)、N式老年者用日常生活動作能力評価尺度(N-ADL)、基本的日常生活動作能力(B-ADL)、手段的日常生活動作能力(I-ADL)、感想の聴取により評価した。その結果、集団を対象とした園芸療法では、自己表現や他者との関係形成等に望ましい変化を与え、仲間との交流が日常生活における生活動作の改善、心身機能の向上につながったことが示唆された。
内 容	<p>(目的) 園芸療法の活動形態は、個別に関わる方法と集団を対象として関わる方法とに大別されるが、それら二つの異なる方法が、対象者にどのような心身機能の変化をもたらすかを調査し、高齢者の暮らす場の特性や園芸療法の活動形態等との関連について討論した。</p> <p>(調査方法) 介護老人保健施設に入所中の高齢者10名(Ⅰ群):男性5名、女性5名、平均年齢75.7±4.2歳および訪問看護ステーションの利用者8名(Ⅱ群):男性1名、女性7名、平均年齢78.6±5.8歳を、対象とした。実施期間は、Ⅰ群1999年7月から10月、Ⅱ群2001年9月から12月まで、頻度は週一回3ヶ月間、計12回とし、Ⅰ群では3,4名のグループ活動を中心に、Ⅱ群では個別に園芸療法を実施した。調査項目は、東大式エゴグラム第2版(TEG)、N式老年者用日常生活動作能力評価尺度(N-ADL)、基本的日常生活動作能力(B-ADL)、手段的日常生活動作能力(I-ADL)、毎回の感想および全体をとおした感想の聴取であった。</p> <p>(結果および考察) 1.作業疲労度には大きな差は認められなかった。2.TEGの変化では、Ⅰ群の全体対象者の場合ではNR尺度(母親的自我)が有意に上昇し、女性の対象者ではFC尺度(自由にふるまう子供の自我)が有意に上昇した。全回における対象者の個別にみた得点の変化ではAC尺度(みせかけの対応などの二面性の自我)は低下したものがもっとも多かった。Ⅱ群の場合には各尺度とも有意な変化は認められなかったが、個別にみた得点の変化ではAC尺度が上昇したものがもっとも多かった。3. ADLの変化では、Ⅰ群ではN-ADLの「歩行・起坐」「着脱衣・入浴」「排泄」の項目で有意な変化が認められたが、Ⅱ群ではB-ADL、I-ADLとも有意な変化は見られなかった。4.Ⅰ群の感想では、「皆でやるからおもしろかった」「友達ができ生活に張り合いが生まれた」などがあった。</p> <p>以上の結果から、集団を対象とした園芸療法では、植物を育てることが他者への関心や思いやりの気持ちを助長し、自己表現や他者との関係形成等にも望ましい変化を与えたことが推察された。また園芸療法を通じた仲間との交流が、個々の生活動作の改善等、心身機能の向上につながったことが示唆された。一方、Ⅱ群では社会性の部分が変化する等、園芸療法の実施形態や対象者が生活する場の特徴により対象者の心身機能に与える効果には違いがあることが示された。</p>

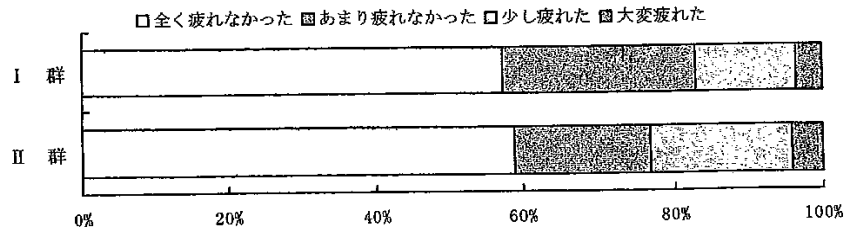


図1. 各群の園芸療法の作業疲労度.

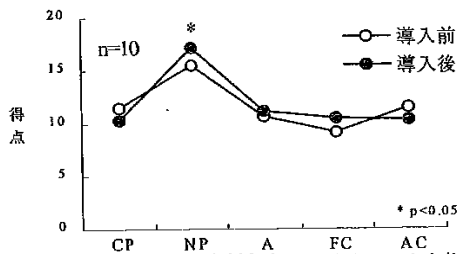


図2. I群の全対象者におけるTEGの変化.

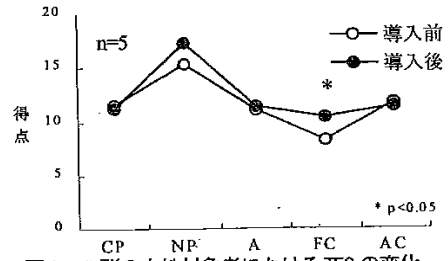


図3. I群の女性対象者におけるTEGの変化.

表1. 対象者別にみたTEGの各尺度の増減.

尺度	I 群											II 群						
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
CP	▼	△		▼		▼	▼		▼	△	▼	▼	▼	▼	△	△	△	△
NP		△	△			△	△				▼	▼	▼	△	△	△	△	△
A	▼	△	△	▼	△	△	△	▼	△	△			△	▼	△	▼	△	△
FC	▼	△	▼	▼	△	△	△	△	△	△				▼	△	△	△	△
AC	▼	▼	△	▼	▼	▼		△	▼	△	△	△	△	▼	▼	△	△	△

△上昇, ▼低下.

表2. I群のN-ADLの変化 (n=10).

	(mean±SD)	
	園芸療法前	園芸療法後
歩行・起坐	3.4 ± 2.7	6.3 ± 1.8**
生活圏	5.5 ± 1.0	5.4 ± 0.8
着脱衣・入浴	4.0 ± 3.1	6.8 ± 2.7**
摂食	8.0 ± 1.5	10.0 ± 0.0*
排泄	5.6 ± 2.8	9.2 ± 0.4*

*p<0.05, **p<0.01.

表3. II群のADLの変化 (n=8).

	(mean±SD)		
	園芸療法導入前	園芸療法導入後	
基本的ADL 合計	6.3 ± 1.5	6.5 ± 1.7	N.S.
歩行	1.6 ± 0.7	1.5 ± 0.8	N.S.
食事	1.0 ± 0.0	1.0 ± 0.0	N.S.
排泄	1.1 ± 0.4	1.1 ± 0.4	N.S.
入浴	1.4 ± 0.5	1.8 ± 0.7	N.S.
着脱衣	1.1 ± 0.4	1.1 ± 0.4	N.S.
手段的ADL 合計	21.4 ± 2.9	21.9 ± 3.1	N.S.

内 容

出典

備考